

農業で **栃木県** の地域や人をつなぎましょう

農業で働く 人材確保のための マッチング事例集



栃木県農政部

本事例集は、株式会社 農協観光が栃木県より委託を受け作成したものです

取組概要

栃木県鹿沼市でトマト生産をしている農家では、パートの欠員がきっかけで「1日農業バイトアプリ「daywork」(デイワーク)」を利用した求人活動を行っています。費用のかからない(無料)求人アプリと聞いて利用を決められました。

最初は応募があるのか不安もあったそうですが、2ヶ月程度の利用期間にて募集枠の7割程度が埋まり、昨年の同時期では終わっていなかった作業も終わることができたそうです。

今後も活用をしていきたいと、求人アプリによる募集に期待をされています。



daywork利用農家

- 栃木県鹿沼市のトマト生産農家
- 作業内容はハウス内での大玉トマトの葉かき

利用時期 令和5年2月から利用開始

マッチング人員

- 2月は週2日で2名ずつ募集をし、7割程度のマッチングが成立

申し込みのあった働き手について

- 8割は県内の社会人でリピーターが多い(将来的に就農を希望する方も)
- 東京から電車で通う学生などもおり、幅広い人材が利用をして活躍中

取組のポイント

- 農業に特化した無料の1日バイトアプリ「daywork」によるマッチング
- 求人農家がアプリを通じて、募集したい日の求人を行う
- 求職者は希望日にアプリから申込みを行い、アプリ上でマッチングが完結
- 働き手は未経験者から経験者まで年齢、性別問わず様々な応募がある
- アプリを通じて合否を決定(複数の応募者があった際は農家側で選べる)
- 9~16時の作業時間で未経験者でもできる単純作業を多く用意して任せる
- 日雇いであるため、原則、賃金は日払いにて対応

1日農業バイトアプリの仕組み

【募集画面(例)】



利用農家

dayworkを使ってみた感想

操作画面もシンプルで
使いやすく、
これからも利用を
続けていきたい。

アプリが無料なのが
大変ありがたい。

働きに来てくれる方も
農作業を楽しんで
行ってくれるので
とても良いと感じた。

成 果

- とにかく今までの求人の苦勞がなんだったのか、
と思うくらい申し込みが多くて驚いた。
- 便利でついつい利用が多くなってしまったため
予定以上の人件費が発生してしまうほど。
- 普通では一緒に働く機会のない職種の方もおり、
今まで働いているパートさんにとっても新たな刺激
となって良い環境が生まれた。

課 題

- 応募者とはアプリ内のチャットなどを通じて作業
内容を説明、マッチングの際に意思確認のための
やりとりが必要。
- あくまでも日雇いのため、技術の蓄積には時間が
かかり、任せる作業を選ぶ必要がある。



働 き 手

dayworkを使ってみた感想

初めての現場は
緊張もするが、
受入れ農家さんが
親切で作業も丁寧に
教えてくれるので、
4回ほど利用して
働きに行った。

コロナなどで
“食の安全”に
関心を持ち市民農園
を借りていたところ、
dayworkについて
教えてもらい
利用を開始した。

成 果

- これからますます必要とされる食の
生産に携わることで知識を得ることができた。
- 家庭菜園など自分が育てる上でも参考になること
が多く、また働きに行きたい。
- 身体も動かすことができ、異なる職種の方とも交流
を持てる上に、農家さんからも喜んでもらえるの
が嬉しかった。

課 題

- まだまだ県内の募集が少なく、栃木県外に行くこと
もあった。もっと県内で募集してくれる農家さんが
増えてほしい。
- 夏場の作業時に水分が足りなくなってしまった。
農家さんも配慮してくれたが、体調管理などは
しっかりと自分でも行う必要があると感じた。



アプリ運営会社

【企 業 名】 Kamakura Industries株式会社

【利用方法】 スマートフォン等にてアプリをダウンロードして利用



<https://day.work>

・ はじめに ・

栃木県における基幹的農業従事者数は、令和2年には約4.3万人と、過去5年の間に約1万人減少し、さらには65歳以上の割合が約7割を占めるなど、農業従事者の減少と高齢化が一層進んでいる状況にある。また、農業者の経営規模が拡大する中で、農業分野における被雇用者数は10年間で6割減少しており、特に、パートやアルバイトなどの臨時雇いは5年間で1万2千人減少するなど、慢性的な労働力不足が生じている。

要因として農業で働きたい人に対しての情報発信の不足、雇用側が農業で働きたい人のニーズに合った労働条件や募集方法で求人ができていないことによるミスマッチが考えられる。また、他産業と比べて、休憩室やトイレ等、雇用者を受け入れるために必要な労働環境が十分に整っていないことから、確保した人材が定着しにくいとも考えられる。

そこで、本事例集ではこれから雇用をしたい農家が参考とできるよう、**実際に労働力確保に取り組む農家の事例と効果的なマッチングを行う方策(労働条件や労働環境改善など)**について紹介する。

県内調査からみる農業求人の方角

令和4年10月～令和5年2月に栃木県内の農家243名、栃木県および隣県在住の消費者908名、栃木県内の農業以外の企業29社に対して、パート・アルバイトに関する調査を行った結果、農業求人における課題が明らかとなった。

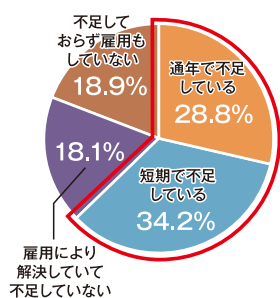


課題1

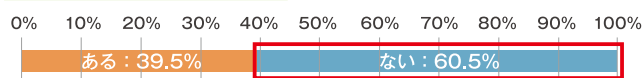
農業における人手不足は将来的に深刻化する

調査結果から現状多くの農家で人手が不足しており、雇用により労働力の確保ができていない農家も少なく、求人活動を行えていない農家も多い。結果として生産規模は維持または縮小傾向にあり、将来的な少子高齢化による労働人口の減少で確実に労働力不足が深刻化するとされる。

労働力は不足しているか



求人募集をしたことはあるか

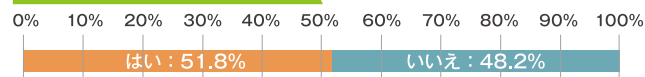


課題2

農業で働くことに関心のある層に求人情報が届いていない

新型コロナやウクライナ情勢により、消費者の食料生産に対する関心は高まっている。調査結果から約半数の消費者が「農業の求人があれば働いてみたい」と回答をしている。一方で求職者の多くがWEBによる求人情報の収集を行っているが、農業におけるWEBへの求人情報の露出は非常に少ない状況である。よって、まずは求人情報を農業界全体で露出していくことが求められる。

農業の求人があれば働いてみたい



農業の求人情報を見たことがあるか



課題3

他産業と比較した労働環境の改善と農業の魅力発信の必要性

栃木県内におけるパート・アルバイトの平均時給は1,133円であり、農業界の時給は1,000円未満が6割ほどとなっている。また、消費者調査の結果から時給1,000円以上を求める回答が7割となっており、単純に時給で職場を選ぶ場合、農業界の状況は厳しいと言える。時給を上げることは困難だが、例えば通勤手当を支給するなど少しの工夫で改善する方法もある。また、「屋外で体を動かす作業」、「融通の利きやすいシフト」、「生産品のプレゼント」といった農業ならではの魅力を発信することで、農業求人への関心を高める取り組みが必要と言える。

2 事例集のねらい

課題に対する取り組み

前述の課題に対して、「求人方法・マッチングの事例」と「労働環境改善のポイント」について紹介する。



課題1 農業における人手不足は将来的に深刻化する

深刻化する前に
様々な方法による
求人募集の実践が必要

課題2 農業で働くことに関心のある層に求人情報が届いていない

【必要な取り組み】
WEB求人サイトへ農業の
魅力を伝える情報を掲載

求人方法とマッチング
の事例紹介

課題3 他産業と比較した労働環境の改善と農業の魅力発信の必要性

【必要な取り組み】
他産業と求職者を意識した
労働環境の改善

労働環境改善の
ポイント紹介

3 求人方法とマッチングの事例紹介

様々な方法による求人募集

農業における人手不足は同じ雇用形態だけでは解決せず、「通年で働ける正社員」、「繁忙期のみフルタイムで働けるパート・アルバイト」、「必要な日のみを日雇い」といった様々な方法による募集、確保が有効である。本事例集では下記のポイントを踏まえて3つの求人方法とマッチングの事例を紹介する。

事例1 援農ボランティアの受入れ

【利用が向いている農家】雇用をしたことが無い農家、これから雇用をしたい農家

【想定される働き手】地域貢献などに関心のある企業の会社員や学生など

- 人手不足の作業支援をしていただく無償ボランティア
- ボランティアは農家や地域の役に立ちたいという気持ちで参加
- 雇用経験のない農家でも働き手に指示をして作業を任せる経験を積むことができる
- 働き手としての練度は雇用と比べて低く、かつ不安定なものとなりやすい

事例2 求人アプリ「daywork」によるパート・アルバイトの日雇い

【利用が向いている農家】短期で人を雇いたい農家、無料で求人募集を行いたい農家

【想定される働き手】農業に関心のある主婦(主夫)・学生・フリーター、副業を希望する会社員など

- 無料のスマートフォン求人アプリ「daywork」による求人募集でパート・アルバイトを日雇いする
- 雇用契約は農家と働き手の直接雇用となり、マッチングはアプリ上で完結される
- 働き手は未経験者からリピーターと多様、アプリ上で働き手の経歴を見てから可否を決められる
- 1日単位での求人であり日払いによる雇用形態となる、また毎回違う方が参加することがある

事例3 WEB求人サイト「とちぎの農業で働こう!」によるパート・アルバイトの雇用

【利用が向いている農家】任せたい作業や雇用期間が明確で中長期的に活躍する人材を雇いたい農家

【想定される働き手】農業に関心があり、中長期で働きたい地域住民(主婦・主夫、シニアなど)

- JAグループ栃木で運営するWEB求人サイト「とちぎの農業で働こう!」への掲載による求人募集
- 主に中長期間で働ける地域住民に対してパート・アルバイトの募集を行う
- 申込者に対して面接などを行うことで、自社に合った人材かを見極めて採用ができる
- 求人条件によっては適切な人材の申込・採用までに期間を要することがある

取組概要

JAはが野は、令和5年2月から3月にかけて、真岡市内のいちご農園にて援農ボランティアの受入れを行いました。

この取り組みは、法人と産地との援農ボランティアのマッチングに取り組む旅行会社から、「都内の企業がいちご農園での援農ボランティア作業を希望している」との相談を受け、開催されました。近年ではSDGsなど企業として社会責任を果たすために様々な取り組みがされており、地域貢献活動として援農ボランティアも注目をされています。



実施時期

■ 令和5年2月13日から3月4日 18日間

実施人員 延べ113名

援農ボランティア受入農家

- 真岡市内いちご生産農園6軒
- 作業内容はいちごの収穫、葉かき、箱詰めなど

援農ボランティア派遣法人

- 都内金融機関の職員(企業研修として派遣)

取組のポイント



- 企業研修として参加しており、無償のボランティア活動である
- 参加者のほとんどが農作業の初心者である
- アルバイト同様に7時30分から16時で取り組む
- 全6班、1班あたり6名程度が参加、農園での作業3日間を6班交代で行う
- 昼食はボランティアが持参し、農家は食事場所を提供
- ボランティアは真岡市内のビジネスホテルに滞在し、ホテルと農園との移動はタクシーを利用

派遣カレンダー

2月～3月 第1週						
日	月	火	水	木	金	土
			1日	2日	3日	4日
5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日
	第1班 (7名)			第2班 (6名)		
19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
	第3班 (7～8名)			第4班 (6名)		
26日	27日	28日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日
	第5班 (5～6名)			第6班 (6名)		



受入農家

援農ボランティアを受入れた感想

初めてボランティアを受入れたが、段取り良く作業をしてもらった。

イチゴ生産の繁忙期にボランティアの方に来ていただいて本当に助かりました。

葉かきの作業など単純作業だが一生懸命取り組んでいただき助かった。

本当に作業が任せられるか心配だったが予想と違って一生懸命働いてくれた。次も機会があれば是非お願いしたい。

成果



- 繁忙期は収穫以外で後回しになる作業が多かったが、ボランティアのおかげで捗った。
- 単純作業など人を雇うほどではない作業を手伝ってもらい助かった。
- 普段接することのない職種の方々との交流も生まれ、今回限りにしたくないと感じた。

課題

- 初心者であり、作業スキルも人によって異なるため、商品である収穫作業などを頼む判断が難しい。
- 日によって作業量や作業内容が異なる日もあり、ボランティア全員に均一に配分することが難しい日もあった。

ボランティア

援農ボランティアを行った感想

いちご狩りに行ったことがあったが、実際の農作業は初めてで生産の現場を知ることが出来て良かった。

作業に携わった美味しいイチゴをもっとアピールしたいと思った。

農家さんと交流をはかれ、仕事の大変さ、農業の重要性を再認識し、日本の農業を盛り上げたいと感じた。

どうしても収穫作業に目がいってしまうが、収穫までの作業がこんなにあることに驚いた。

成果



- 普段の業務と違う環境、視点により、本来の業務に活かすことのできる改善点などを考えることができた。
- 援農ボランティアを通じて、社会貢献活動と食に対する意識を高めることができた。

課題

- 本業があるため長期のボランティア活動が難しい。（農家さんは長期の作業を期待されている）
- 体力のあまり無い方では難しい作業もあるので、事前に調整が必要だと感じた。

旅行会社

【企業名】



株式会社農協観光

【利用方法】

QRコードの農協観光HPから援農受入れ希望登録後、後日条件に合う法人等とのマッチングを提案



取組概要

栃木県宇都宮市でイチゴ生産をしている農家では、3年前に就農して以来、JA無料職業紹介を通じたWEB求人への掲載などでパートを募集。現在は17名を採用しており、繁忙期には収穫作業やパック詰め作業などで1日に13名前後がシフト制にて活躍中。

勤務時間は午前中(7時~11時)が中心だが、作業によっては1~2時間ほどの残業もお願いをしている。12月~5月で収穫作業の採用を行っているが、本人の希望なども伺ってパック詰めなど技術が必要な作業にも入ってもらい、勤務時間も調整をしている。また、5月以降も働ける方に対しては夏場も働いてもらうなど、すでに働いている方を中心に作業内容、勤務時間、勤務期間を調整している。



「とちぎの農業で働こう!」について

- JAグループ栃木がJA無料職業紹介と連動して運営するWEB求人サイト。
- 求人をしたい農家はJAを通じて求人依頼をすることでWEBへの掲載が行われる。
- 求職者は栃木県内在住が多く、経験者・未経験者問わず性別、年齢も様々。
- 申込者は求人ページを見て申込む、農家は面接にて条件に合う申込者を採用する。

WEB求人サイト「とちぎの農業で働こう!」

	令和元年 7月からの累計	令和4年度 (4月~1月末)
アクセス数	346,795回	75,733回
求人農家数	1,195戸	360戸
求人数	2,357人	677人
応募者数(電話応募含む)	4,677回	1,018回
採用者数	1,401人	333人

取組のポイント

- 栃木県内の農業における求人情報が集約されている。
- 収穫期の数ヶ月~通年といった求人農家側の希望に応じて募集が可能。
- 農家のお仕事を紹介するページやパートさんへのインタビュー動画があり、これから農家で働こうと考えている求職者が安心して応募しやすい情報をまとめている。
- 検索キーワードに連動した広告により多くの求職者にアクセスをしてもらえるように工夫している。
- 求人農家に対しても「求職者が何を求めているか」を学んでもらい、応募者の定着が進むように冊子などを作りサポートを行っている。



パート・アルバイトの雇用

利用農家

WEB求人サイトを使って雇用をした感想

JAを通じて
求人を行っており、
合同面接会の開催など
求人のサポートにより
助かっている。

去年は
人手が足りずに
ハウスを減らした。
まだまだ人手が
足りないので
募集を行っている。

募集は12月～5月の
繁忙時期に収穫作業と
して行っている。
採用した方で
個別に相談をし、
もっと働きたい方などは
パック詰め作業や
夏場の作業も
お願いをしている。

成果

- 雇用は17名、収穫8名、パック詰め2～3名の方にシフト制で活躍していただいている。
- 時給は920円からスタートし、作業内容やリーダー的役割によってアップしている。
- イチゴを買いたいパートの方には、味は問題ないが少しの傷で出荷できない作物を提供したり、卸値で安く販売をするなどの対応をして喜んでもらっている。

課題

- パック詰めなど技術がいる作業は募集しても適性が分からないので、既に雇用している人に相談をして出来る方に担当してもらうなど工夫が必要。
- 夏場など年中作業はあるが、時間が短いなどの理由で「通年雇用」としての募集ができない。そのため、既に雇用している人に声をかけて働きたい人をお願いをしている。
- 4月～5月のハウス内は暑くなるため体調管理などへの配慮が必要。



働き手

WEB求人サイトを使って働いてみた感想

新聞折込みチラシと
WEBサイトを見て
合同面接会に参加、
2022年12月から勤務。
自宅からはマイカーで
10分程度、現場が近い
ことも決定の要因。

友人も農業バイトを
しており元々関心が
あった上、
合同面接会で
今働いている農家さんの
雰囲気気に入って
すぐに働くことを決めた。

成果

- 週5日シフト制にて、8時～11時を基本に時々残業もしながら働いている。
- 栃木県の代表的な作物であるイチゴの栽培に携われて嬉しい。
- 作業は基本的に一人で没頭して行える上、たくさん収穫ができると達成感もあって楽しい。

課題

- 中腰の姿勢が多いため、腰が痛くなる時がある。
- 4月以降、暑くなったときのハウス内の作業が少し心配。
- 収穫するイチゴの色の見極めなどが難しい時がある。



WEBサイト運営会社

【企業名】 JAグループ栃木

【利用方法】 最寄りのJA窓口にご相談ください



他産業と求職者を意識した労働環境の改善

農業における労働力不足は以前から問題になっていますが、労働力不足は農業だけの問題ではありません。日本の人口減少に伴い、今後あらゆる産業で働き手を確保する競争が激化すると言われています。

そこで他産業や求職者を意識した労働環境の改善「農業版働き方改革」を行うことで、労働者の方にも気持ちよく働いてもらえる環境を整え、新たな働き手の方に選ばれる職場となることが重要になります。



改善が求められる求人条件・労働環境



費用や時間をかけなくてもできる改善

- ☐ 求人情報に具体的な作業内容を掲載
- ☐ 求人情報に農業の魅力を掲載
- ☐ 応募があった際は即日対応
- ☐ 作業指示は丁寧にわかりやすく
- ☐ 定期的な声掛けで良い雰囲気づくり
- ☐ 作業現場の整理整頓
- ☐ 収穫物の提供など農業ならではのメリット

費用や時間がかかる改善

- ☐ 通勤手当や交通費の支給
- ☐ 賃金や時給のアップ(昇給制度など)
- ☐ お手洗いや更衣室、休憩室などの整備
- ☐ 欠員が出てもフォローし合える人員配置
- ☐ 労災保険などへの加入
- ☐ 作業に必要な用具などの支給・貸与

まずはできる改善から取り組むことが重要です！

農業版働き方改革の目的

- 働く方々のモチベーションの向上
- 離職率の低下と求人コストの削減
- 作業効率化による生産性の向上

労働環境改善の方法

① 農作業の分解・整理

- 普段の農作業の作業内容を分解
- 作業の量・時間・難易度の把握

作業を明確にして
いつ、何名雇うかを計画

② ソフト面の改善

- 指揮命令の工夫
- 労働時間や給与の管理

柔軟性・納得感のある
労働条件に見直し

③ ハード面の改善

- 施設や設備の点検・整備
- 作業現場や道具の整理・整頓

安全性・清潔感を意識した
労働環境の改善

改善のポイントとなる客観的な視点

- 経営者の視点 業務を言葉で説明できるか、スケジュールや作業に無理は無いかな
- 求職者・労働者の視点 身体的負担は適切か、柔軟な働き方が可能か、意見は出しやすいかな
- 第三者の視点 共通する課題は無いかな、より良い方法は無いかな(手法の共有)



農業版働き方改革が実践された

労働環境の良い職場



労働者も一生懸命長く働き
ベテランが育ちやすい

良い循環が生まれ、
効率や業績アップ

農業版働き方改革が実践されていない

労働環境の悪い職場



労働者の入れ替わりが多く
作業効率なども上がらない

悪い循環が生まれ、
不正やトラブルも起きやすい

求職者の視点に立って、選ばれる職場の条件を見てみましょう！

農作業の分解・整理では、農作業の内容、作業量、時間、難易度など細かく分解、分類することで「いつ」、「どんな人材」を、「何人」雇うかという採用計画を立てることができます。さらに作業内容を見直すことは作業効率を高めることにも繋がります。

明確な作業に基づいたシフト作りを行い、多様な人材が働けるパターンを考えてみましょう。

ポイント 作業はできるだけ細かく切り出すことで未経験者にもお願いできる仕事も明確にでき、求人を行いやすくなります。

作業を分解する手順

- 1 人手が必要な時期と仕事を書き出してください
例) 7月～8月に畑仕事と出荷調整作業
- 2 書き出した仕事内容を分解してください
例) 畑仕事→草むしり、芽かき、収穫 出荷調整→選別、計量、箱詰め
- 3 分解した仕事について、さらに一人あたりで必要な時間・日数で分解してください
例) 草むしり(2時間)、芽かき(1時間)、収穫(1時間)、選別(2時間)、計量(1時間)、箱詰め(1時間)

作業を分解しパズルのように組み合わせることで、例えば、下図パターン①のようにシフトを1名で作成することも、パターン②と③のように2名で組むこともでき、シフトの組み方が多様になります。この多様性がより多くの求職者とのマッチングの可能性を高めます。

			8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	備考
パターン①	8:00～17:00	出勤	収穫	芽かき	草むしり	草むしり	休憩	選別	選別	軽量	箱詰め	退勤		
パターン②	8:00～12:00	出勤	収穫	芽かき	草むしり	草むしり	退勤							
パターン③	13:00～17:00						出勤	選別	選別	軽量	箱詰め	退勤		



全ての作業を一人でこなすのは不可能

とりあえず人を雇ったとしても



作業指示が曖昧で何をどこまでやったらいいかわからない

作業分解を行うことで解決! //

- 未経験者でもできる仕事が切り分けられる
- 具体的な作業内容が分かり、指示が明確にできる
- 自分がやるべき仕事の整理ができる



自分がやるべき仕事や、やりたい仕事に専念しよう

具体的な作業に基づいて人を雇用



未経験者でもできる仕事は、人を雇って具体的に指示しよう

作業分解を行うことは自分の仕事の整理だけではなく、労働者が働きやすくなるためにも重要です

農作業を分解・整理し、多様な人材を雇うためのチェックポイント

項目	チェックポイント
農作業の分解・整理	☐ 人手が必要な時期と作業内容を書き出す ☐ 書き出した作業内容を一人あたりで必要な時間などにて、さらに細かく分解 ☐ 集約できる作業や余分な時間がかかっている作業を把握 ☐ 自分がやるべき仕事と人に任せられる仕事で整理
短時間でも働けるスキマ時間を活かしたシフト作り	☐ 細分化した作業を、作業内容、量、必要な時間、難易度などで分類 ☐ 分類した作業をもとに1日に必要な労働者の人数や時間を算出する ☐ 算出した作業をパズルのように組み合わせてシフトを作る
急な欠勤などにも対応できる採用計画	☐ 作成したシフトに対して余裕を持った人員で採用計画を立てる ☐ 労働者同士でシフトを補い合える雰囲気をつくる ☐ 天候不良などで休業が発生しないように、様々な作業を用意しておく
残業や休暇、休日などを他産業に準じて整備	☐ 残業指示は、極力事前に計画の上、労働者の確認を取って指示をする ☐ 就業規則などを整備して、残業や休暇などのルールを明文化する ☐ 法定三帳簿や給料明細などは記録として残す ※労働基準法で作成が義務付けられている労働者名簿、賃金台帳、出勤簿

労働環境におけるソフト面では、現場における労働者の働きやすさについて考えます。未経験者でも分かりやすい作業指示や接しやすい雰囲気づくりなどを意識し、「働いていただく」という感謝の気持ちで接することがポイントになります。

ポイント 具体的な指示に加えて理由を説明することで、勝手な判断による作業ミスを防ぐことができます。

良い指示の例



今日は〇〇の収穫作業で、大きさと色の基準は□□、基準の理由は△△、何時までに、この面積を行います。基準、面積などわからないことは聞いてください。

- 話しやすい雰囲気や表情、言葉使い
- ゴールを示した具体的な指示や判断基準
- 質問や相談をしやすい投げかけ



具体的な指示でわかりました。基準より大きいものは収穫した方がいいですか？

- 労働者が指示を理解したかを確認
- 具体的な指示は労働者の質問も具体的にになりやすく、作業の理解が深まります



大きいものは加工用にするので、収穫して、別のコンテナに分けてください。少し畑から離れますので、〇時に15分の休憩をとってください。

- 質問に対しても具体的な回答と指示
- 不在にする場合も伝え、先の指示まで行う

悪い指示の例



(事前をお願いする作業を決めていなかった、未経験者でもできるだろうし)「とりあえず、このへんの草むしりをやっというて」。こんな感じ(少しだけ見せて指示は終わり)。分からなかったらほっというていいから。

- × 話かけにくい雰囲気や表情、乱暴な言葉使い
- × ゴールの無い曖昧な指示
- × 労働者任せの判断になる指示



指示が曖昧でよく分からないまま、どこかに行ってしまった…。とりあえず自分の判断でここから始めよう。相談できないので、明日から不安だな…。

- × 労働者の理解を確認しないことはトラブルの素
- × 不明瞭で不安な状態の作業は効率も悪く、作業理解が伴わなければ成長も期待できません



あんなに時間があつたのに、お願いした作業が全然できていない!作業も雑で、これなら自分でやった方が良かった。あの人はちゃんと仕事ができないダメなパートだ。

- × 作業のゴールが共有できていないため、成果に不満が生じることも
- × 指示内容が不足しているのにも関わらず労働者の資質に原因を求める

労働環境におけるハード面とは、作業現場の環境・設備などの作業に関わる直接的で目に見える部分に関することです。例えば整理整頓についても、農業の世界では当たり前のことが農業に馴染みのない方には驚かれる光景だったりします。ハード面の改善は安全や衛生に直結し、労働災害防止の取り組みとなりますので、積極的に改善に取り組んでみましょう。

ポイント 労働災害は雇用主が責任を負うことになるため、まずは労働災害を防ぐ取り組みが重要になります。

作業に適した安全な服装を指示しましょう



道具や作業現場は4S(整理・整頓・清掃・清潔)を意識して効率的に作業できるようにしましょう



体力などに配慮し無理な作業指示はしないようにしましょう



作業前に注意事項を説明し事故やケガを防ぎましょう



ここもポイント

多様な働き手を受け入れ、気持ちよく働いてもらうためには、お手洗いや更衣室の用意も重要なポイント! 近くに用意がない場合は、休憩時間を長めにとって送迎するなど、配慮をしましょう。

